

羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.97

2026年3月発行
 一般社団法人岡山県介護福祉士会
 〒700-0807
 岡山市北区南方2丁目13-1
 岡山県総合福祉・ボランティア・
 NPO会館「きらめきプラザ」7階
 TEL: 086-222-3125
 URL: <https://www.okayama-kaigo.jp>
 印刷編集協力: 友野印刷



えがお

地域の祭りに触れ、そして施設内では職員が神輿を担いで回することで、利用者の皆さまに季節の行事を楽しんでいただきました。

一人ひとりの「その人らしい時間」を大切にしたいという思いが、笑顔となってあふれた瞬間です。

介護福祉士として、“暮らしに寄り添う支援”の原点を再確認したひとときとなりました。

特別養護老人ホーム 高瀬Ⅱ 古山 喬成

第10回 おかやま介護グランプリ2025 開催

学生の部

競技の
様子



デモンストレーション



開催日：2025年11月4日（火）
会場：きらめきプラザ

「第10回おかやま介護グランプリ2025本選」を開催いたしました。

10回目の節目を迎えた今回は、動画による予選

を勝ち抜いた学生部門7チーム、一般部門3チームによって介護技術が競われました。

選手の競技では、素晴らしい介護技術を見せていただき、ご来場いただいた皆様と共に介護の魅力を見ることができました。受賞チームの競技や当日の様子は、会のWEBサイトで動画配信する予定です。

一般の部



見学者アンケートより

- 見学してみて自分自身とても勉強になりました。
- 学生にとってはイメージしやすい課題でそれぞれのアセスメントにより介護の内容を変えて展開しており勉強になりました。
- より多くの人に介護技術や関わりの凄さを知ってもらえる会場やPRをしてほしいです。

◆ 受賞チーム ◆



優勝
(学生部門)

川崎医療短期大学 チーム クッキーアンドクリーム

まさか私たちが選ばれるとは思っていませんでした、とてもうれしいです。どのチームも工夫している中で評価していただき、自信につながりました。これからも利用者の方の力を引き出し、笑顔を生み出せる関わりをしていきたいです。



優勝
(一般部門)

チーム 里見川荘

初心に戻ることができました。グランプリを通して、改めて基礎の大切さを感じました。今後も初心を忘れず、介護を一から学ぶ気持ちで頑張りたいです。



審査員
特別賞

岡山後楽館高校 チーム 全マシマシ

選ばれると思っていなかったので驚きましたが、とてもうれしいです。準備期間の短い中でも、できることを精一杯頑張りました。これからも自信を持って取り組んでいきたいです。



会のWEBサイトに受賞チームの競技、当日の様子を動画でアップします。ぜひご覧ください。

大会実行委員会



出場チーム紹介

(競技順)

学生部門

岡山後楽館高校
チーム 全マシマシ



川崎医療短期大学
チーム HANA



川崎医療短期大学
チーム キキョウ



川崎医療短期大学
チーム あいりときずな



岡山後楽館高校
チーム らっかん



川崎医療短期大学
チーム 養生



川崎医療短期大学
チーム クッキーアンドクリーム



出場者の声 (学生部門)

- ・ 普段の学校での実技発表とは違い、多くの方々に囲まれた中での演技だったので、とても緊張しました。
- ・ 「家に帰りたい」という本人の思いを尊重し、自宅でも安全に過ごせるように、介護のコツを伝えることを意識しました。
- ・ 支援の仕方は一つではなく、その人それぞれに合った支援があると思います。これからも日々学びを重ねながら、その人らしい支援をしていきたいです。

一般部門

TEAM Hakuwa



チーム 新宅



チーム 里見川荘



出場者の声 (一般部門)

- ・ 緊張しましたが、落ち着いてゆっくり丁寧に対応することを意識しました。
- ・ できることとできないことを見極めながら、その人にとって必要な支援を行いました。
- ・ とても良い経験になりました。今後も声かけや自立支援を意識して関わっていきたいと思います。



広報委員会

ペーパーレス化に向けたアンケートへのご協力ありがとうございました。

皆様のご意見を今後の広報誌「らしんばん」、岡山県介護福祉士会ホームページに反映させていただきます。アンケート結果につきましては、ご意見いただきましたものを岡山県介護福祉士会ホームページに掲載します。こちらには、一部抜粋したものを掲載します。

● 回答数：85名（会員83名，非会員：2名） ●

●ペーパーレス化

賛成：	70% (58名)
どちらともいえない：	22% (18名)
反対：	8% (7名)

「どちらともいえない」の方のご意見

・ ホームページでらしんばんのアーカイブを開くとき見にくい
ため、その改善をしないと誰も見ないように感じます。
らしんばん発行月はホームページの頭にショートカットを
持ってくるなどの工夫が必要。

●らしんばんを見る頻度

毎回：	75% (62名)
ときどき：	16% (13名)
ほとんど見ない：	10% (8名)

・ 紙で届くので読んでいますが、わざわざ携帯で読もうとは思
わないかもしれない。

●岡介HPの訪問目的（延べ人数）

研修開催確認	60名
イベント	33名
らしんばん	10名

・ コストカットという意味では、会員数が減ってきている現
状ではとても必要なことだと思う。ただ、興味のある情報
しか開かない現代なのでペーパーレスにすると余計見なく
なるのでは。

※ 割合は四捨五入し、整数で表記しているため、
合計が100%とならない場合があります。

・ ペーパーレスはSDGsから見ても必要だと思うが、メール
等だと画面によっては見にくい。

皆様から貴重なご意見をいただき、集計後に早速、広報委員会を開きました。

今後、どのような形で岡介からの記事を発信することがいいのか、読みたい！と読んでいただける内容を考え、「らしんばんNo98」の記事の意見を出し合いました。その後、執筆テーマ案、執筆者への打診、提出状況を確認しながら進めていきます。今年度は委員メンバーの負担軽減も視野に入れ、各地区が無理なく関われるように森岡委員長が中心となり活動を続けて参りました。今の時代に合ったもの、またコスト削減の検討、紙媒体の価値と、できるだけ会員様のニーズに合った広報誌「らしんばん」を検討していきたいと考えています。これからもよろしくお願いたします。

(広報委員 一同)

ご紹介☺

「らしんばんNo1」は平成20年1月の「社団法人岡山県介護福祉士会」が認可を受けたときからスタートしました。バックナンバーをこの機会に是非<(_)>



らしんばんNo.1は
こちらから



らしんばん
バックナンバー一覧は
こちらから

調査研究委員会 活動報告

介護福祉士養成校の学生に聞く ～介護実習と就職への思い～

調査研究委員会では、介護福祉士を目指す学生の皆さんを対象に、「介護実習や就職に関する意識調査」を実施しました。調査期間は令和7年8月から9月の2か月間。県内の介護福祉士養成校にご協力いただき、多くの学生の声を集めることができました。ご多忙の中ご協力くださった先生方、そして率直な思いを寄せてくださった学生の皆さんに、心より感謝申し上げます。

この調査は、深刻化する介護人材不足という社会的課題を背景に、介護福祉を学ぶ学生がどのような気持ちで実習に臨み、資格取得後の進路をどう考えているのかを明らかにすることを目的としています。学生の「本音」に耳を傾けることで、より良い介護実習のあり方や、働きやすい介護現場づくりに役立てたいと考えています。

現在、アンケートの集計は完了し、委員会内で分析・考察を進めています。回答の中で最も多かったのは、実習中に「利用者から『ありがとう』と感謝の言葉をかけられた」「笑顔を見られた」「名前を覚えてもらえた」など、人との関わりの中で喜びややりがいを感じたという声でした。「会話が弾んだ」「信頼関係を築けた」「別れの時に涙した」といった温かなエピソードも寄せられ、学生たちが利用者との交流を通して介護の魅力を実感

している様子うかがえます。

一方で、「利用者との会話が続かない」「職員が忙しく質問しづらい」「記録やレポート作成が難しかった」といった困りごとも多くあげられました。また、学校で学んだ内容と現場での実践の違いについては、「利用者一人ひとりに合わせた臨機応変な対応が求められた」「教科書通りではなく、現場ならではの工夫があった」との声が多く、実習を通じて“教科書の先”にある介護を体感していることがわかります。

調査結果のまとめと委員会の考察は、準備が整い次第、本会ホームページにて公表する予定です。学生の声を共有し、介護福祉の魅力を再発見するとともに、未来の介護を支える環境づくりにつなげていきたいと考えています。

今後も調査研究委員会では、介護福祉に携わる方々と共に介護福祉の発展に向けた調査・研究活動を続けてまいります。

(調査研究委員会)



紹介します！

地区活動

地区研修

美作地区
地区研修

それゆけ！美作地区研修報告

2025年10月4日（土）、美作地区にて地区研修を行いました。

「介護の魅力発信 第3弾～わかり合おうみんなの介護～」と題し、

講師は（「老いと演劇」OiBokkeShi主宰）の菅原直樹先生。

美作地区で3年連続！シリーズ化しつつある研修です。

今回の参加は24名！場所は中央福祉会「白寿荘」会場を提供していただけただけでなく机や椅子、プロジェクター等の設備も設置してくださり大変お世話になりました。

第1回、第2回の研修…いや、ワークショップを見て感じていたのですが、みなさん認知症の対応事例を話すのが楽しそう！困った事例なのに「もう聞いて！」って感じで生き生きと話をしています。

なので今回は「わかり合おうみんなの介護」にしました。

個人情報に注意！は大前提ですがもっともっと現場の話をしてもらって気持ちを共有したり、ちょっと知恵を借りたり、それで現場で働くみなさんの気持ちが楽になったり、力が湧いたり、そんな場を作りたいと考えて企画しました。

みなさんの事例が命のワークショップになるので事前に事例の提供の声掛けも行いながらの宣伝としましたが、そこはなかなか難しく事例の提供までではなく、当日になって菅原先生とどうしようかと打ち合わせ。

前半はアイスブレイク的なレクから始まり、認知症の人の気持ちを理解するような演習もあり、すっかり打ち解けた参加者は最後はグループに分かれてそれぞれの現場で体験した事例を話し合うことになり、最終的にはみんなの介護をわかり合えたワークショップになったのかな？という感じになりました。

この気持ち、この輪、もっと広げていきたいので来年もやります！第4弾！

次回は2026年11月を予定しています。場所は美作地区管内の施設（未定）です。

楽しみにしていて下さい、企画の段階から参加したい方もよろしくお願い致します。

メインテーマは「介護の魅力発信」。介護の魅力を外へ発信したいという気持ちがあります。

そのためにまずは私たち介護福祉士が魅力的な自分になりましょう！

と、いうわけで報告よりも宣伝の方が多かったかもしれませんが岡山県内の介護福祉士がより魅力的になるようこれからもご協力お願い致します。

（美作地区部長 福田）



HPに短い動画をUPしています。

不鮮明な画像ですが、ぜひ研修の雰囲気をご覧ください！

東備地区

地区研修

2025年11月28日（金）、国立療養所長島愛生園にて「東備地区第1回研修会」を開催しました。

当日は5名の参加者が集まり、まずは11月にオープンしたばかりの新施設「でんしょう愛生館」を見学しました。デジタル技術を応用した展示は視覚的にも非常に楽しく分かりやすいもので、学芸員の方の解説に引き込まれ、30分の予定を1時間に延長しても時間が足りないほど充実したひとときとなりました。

その後移動した研修会場の「むつみ交流館」は、宿泊施設や浴室も備え食堂も完備した広々とした施設で、5名で贅沢に使わせていただきながら、今回はぜひ宿泊を兼ねた研修を行いたいと感じる素晴らしい環境でした。研修はお茶とお菓子をいただきながら和やかな雰囲気が進められ、参加者からは自部署での事例や各々の率直な想いも共有されました。

研修では、職員同士の意見の違いから生まれる「もやっと」した気持ちを倫理的に紐解きました。私たちが抱く「想い」には、それぞれの価値観が大きく影響を与えています。そもそも価値観とは、これまで自分が経験してきたことや育った国の文化などによって形作られるアイデンティティそのものであり、一人ひとり違って当たり前なのです。例えば「丁寧な関わり」一つをとっても、じっくり話を聞くことを重視する人もいれば、手順を遵守して失敗しないことを優先する人もいます。職種や立場によって大切にしたい優先順位が異なるために時に対立も生まれますが、どちらかが正しいのではなく「どちらも正しい」という視点を持ち、その中間にある落としどころを探る重要性を学びました。

職員同士の意見が違って、最終的には「利用者の幸せ」という目標は同じです。

お互いの立場を冷静に理解し合うことが、結果として利用者の利益に繋がることを再確認する有意義な一日となりました。

（東備地区：広報・城島）



第15回 介護実践研究発表会・会の活動報告会

2026年1月29日（木）、きらめきプラザ及びZoomにて「第15回実践研究発表会と会の活動報告会」が開催されました。介護実践研究発表では、見取りケアやACP（アドバンス・ケア・プランニング）、認知症高齢者への関わり、ボランティア活動を通じた笑いの提供ともたらす効果など日々の実践に基づく4題の発表が行われました。

いずれも利用者様本人のお思いや価値観を大切にされた関わり方、日常の中で意思決定支援を積み重ねていく姿勢について学ぶとともに、今後の実践につなげていきたいと感じる内容でした。

後半の活動報告では、災害支援ボランティア活動をはじめ、入門教室・キャリア形成・出前講座の実践報告、学生の介護実習・就職に関する意識調査についての報告が行われました。

本報告会を通じて、介護福祉士として大切にしたい視点や考え方について学びを分かち合い共有する機会となりました。

助言者

旭川荘厚生専門学院 介護福祉学科
学科長 小 淵 順 子 氏
一般社団法人岡山県介護福祉士会
会長 安 達 悦 子 氏



事例発表

	テ ー マ	所 属	発表者
1	「透析治療中止したA様」の介護職としての看取りケア —関わった人に生死観について考えさせられた事例—	(株) アイリーフ サービス付き高齢者向け住宅 アイグランデュ岡山	蔵野 芳枝
2	笑いの提供とその効果 —ボランティア活動を通じて—	医療法人真庭慈風会 介護老人保健施設ゆうあい	金佐 政彦
3	認知症高齢者の言葉に寄り添う —想いを現実に—	社会福祉法人旭川荘 グループホームよしい川	水内 誠 土井 美和
4	その人らしい生活を大切に —ACPを取り入れて—	社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園	檜村 充一

活動報告

	テ ー マ	所 属	発表者
1	災害支援活動報告	岡山県介護福祉士会 災害支援ボランティアチーム	加納 忠紘
2	あなたの街へ、あなたの職場へ、 あなたの未来へ！ —入門教室・キャリア形成・ 出前講座の実践報告—	岡山県介護福祉士会 事務局	長畑 典子
3	令和7年度「学生の介護実習・ 就職に関する意識調査」 に関する報告	岡山県介護福祉士会 調査研究委員会	宮内 祥

見学者の感想

初めて岡山県介護福祉士会の実践研究発表会に参加して、心温まるエピソードや事例を聞き介護職としての使命感や介護観について改めて考えさせて頂きました。

「人が関わり、その人らしい生き方を支えること」が介護の使命であり、自分の中の介護観を見つめ直すこと、そして次世代の職員に伝えて感じてもらう事を今後とも考えていくことが大切であると感じました。

どの発表もエピソードがあり、心動かされる研究発表でした。参加できてよかったです。

一般社団法人岡山県介護福祉士会 代議員立候補者選挙公示

任期満了に伴い2026・2027年度の代議員を選出するため、下記日程で代議員立候補者選挙を行います。

【各地区代議員定数】

地区名	会員数	代議員選出 予定人数	補欠 代議員数
岡山	314	10	1~3
倉敷	167	8	1~3
東備	59	6	1~3
真庭	36	4	1~3
美作	68	6	1~3
新見	13	4	1~3
高梁・総社	71	6	1~3
井笠	29	4	1~3
合計	757	48	8~24

※①立候補届出書の用紙は各地区事務局にあります。
※②立候補届出書を提出の際は、戸籍上の氏名をご記入ください。

2026年

3月1日 公示（選挙規程、選挙権者名簿、日程等）



事務局にて立候補受付

選挙管理委員会にて受付書類確認

3月15日 立候補締め切り

立候補者一覧公示・選挙は投票用紙送付にて実施

選挙結果発表は3月末を予定

2025年度賛助会員の皆様

(敬称略、順不同)

医療法人社団新風会 玉島中央病院	株式会社リスコ
医療法人福嶋医院	社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園
EN株式会社 ENテクノサービス	社会福祉法人岡山中央福祉会
学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	社会福祉法人恵風会 特別養護老人ホーム恵風荘
学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校	社会福祉法人光優会
学校法人川崎学園 川崎医療短期大学	社会福祉法人天神会 こうのしま介護老人保健施設
学校法人ベル学園 岡山医療福祉専門学校	社会福祉法人優風会
学校法人美作学園	東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
株式会社創心會	森脇法律事務所

ご支援ありがとうございます

2026年度岡山県介護福祉士会
賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。
詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。
資料を送付させていただきます。
岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

みんなの広場

ほっとステーション

今回ホットステーションを投稿させていただきます井笠地区の新参者です。井笠地区は広島県と隣り合っていることもあり、倉敷より福山で活動している事もあります。

10月の終わりに県北のとあるキャンプ場のイベントに参加してきました。

10月の終わりということでハロウィンのイベントで、ハロウィンといえば「お菓子」ということもあり様々なミニゲームが用意されていました。参加費は無料でゲームに参加やクイズに正解するだけでお菓子が貰えたんです！

子どもから大人までタダより安いものはないという事で必死にゲームやクイズに参加されました。

大人の方も子どものために、自分のためにと全力で参加されました！

総額約17万円分のお菓子が振る舞われ、ハロウィンという事で最後は仮装大会もあり1位の商品が1万円分のお菓子！！

小学生低学年の子が見事優勝し抱えきれないほどのお菓子を持って帰られました。

フィナーレはトラックの荷台からお菓子撒き！参加者の皆さんはかなりの数のお菓子を持って帰られてました。

介護の世界でしか働いた事はなく、イベントのスタッフをお願いされ興味本位で参加してみました。日常では味わえないイベントスタッフの大変さや、子どもたちとなかなか関わる事が少ない生活をしてきたからこそ貴重な経験が出来たと思います。

フットワークの軽さは取り柄だと思っているので、もし他のことでもお声がかければ体力が許す限りまだまだ色々なことにチャレンジしようと思います。

ボランティアのスタッフで参加しましたが大人もお菓子を貰うと嬉しく、どこか子ども心をくすぐられるんだと心温まりました。



✉ 県介護福祉士会からのお知らせ

◇会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、日本介護福祉士会HPからの変更手続き、または変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様に、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出ください。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意ください。

編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

森岡 剛士	三宅真奈美
田中 秀樹	内藤 佑弥
好本 啓	岡本 奈々
城島 義隆	岡田 貴弘
古山 喬成	福田 洋平
西本 光男	磯田 明枝
樋口久美子	染谷 和哉
松井 皇彦	